

大阪公立大学
現代システム科学域 環境社会システム学類

2022年度 学校推薦型選抜 学力試験問題

小論文

2021年 11月 20日

注意

1. 問題冊子 1 部(表紙を含め 7 枚)と解答用紙 3 枚、下書き用紙 1 枚があります。試験開始の合図後、ただちに枚数を確認してください。
2. 試験開始後、解答用紙の所定の欄のすべてに受験番号及び名前を記入してください。
3. 解答は、解答用紙の所定の箇所に記入してください。
4. 定められた字数には、句読点も 1 字として数えます。
5. 解答時間は 1 2 0 分です。
6. 試験終了後は、解答用紙を回収します。(問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。)

【問題 1】 次の英文を読んで以下の問いに答えなさい。

著作権の
関係により
公表しません

[中略]

(Editorial, A warning from the forests of Africa and the Amazon, *Nature* Vol.579, 5 March 2020.からの引用。出題のため一部を改訂している。)

二酸化炭素

ブラジルナツツ (南米原産の樹木)

カポック (中南米・アフリカ原産の樹木)

埋め合わせする

筋書、シナリオ

はかない、束の間の

誓約する、誓う、公約

放出、排出

死亡率、死亡数

干ばつ

温室効果ガス

保護する

森林伐採、乱伐

何よりも大切な

(環境などを) 悪化させる

脱炭素化

問1 下線部①を日本語に訳しなさい。

問2 なぜ下線部②のような状況になると考えられるのか、本文に即して日本語で説明しなさい。

問3 下線部③を日本語に訳しなさい。

【問題2】

次の文章をよく読み、また添付の資料（図1）を参照しながら以下の設問に答えなさい。

著作権の関係により公表しません

著作権の関係により公表しません

著作権の關係により公表しません

(出典は、小松貴『裏山の奇人：野にたゆたう博物学(フィールドの生物学)』2014 年、東海大学出版部による。ただし、出題の都合により文章・表など改めた箇所がある。)

問1 文中、下線部「 」の特徴を3点指摘しなさい。

問2 図1を参照し、下記の文章の括弧内に適切な言葉・数字を書き入れ、文章を完成しなさい。なお、解答は、解答用紙の解答欄へ記入しなさい。

著者は、アシナガキアリの（ a ）内において、1時間20個体のシロオビアリヅカおよびミナミアリヅカを観察した。その結果、（ b ）個体のシロオビアリヅカはアシナガキアリから攻撃されたが、（ c ）個体のシロオビアリヅカは攻撃されなかった。また、全体の（ d ）%にあたる（ e ）個体は、アシナガキアリから口移しで餌を4～8回もらっていた。一方、ミナミアリヅカは、すべての個体で（ f ）回以上攻撃され、最も多いものでは（ g ）回も攻撃されていた。その上、口移しで餌をもらう回数は（ h ）回であった。これらのことから、（ i ）よりも（ j ）の方がアシナガキアリと親密であると言える。

問3 文中、二重下線部「 」と「 」について、250 字以内で、著者の考えに即し説明しなさい。

図1

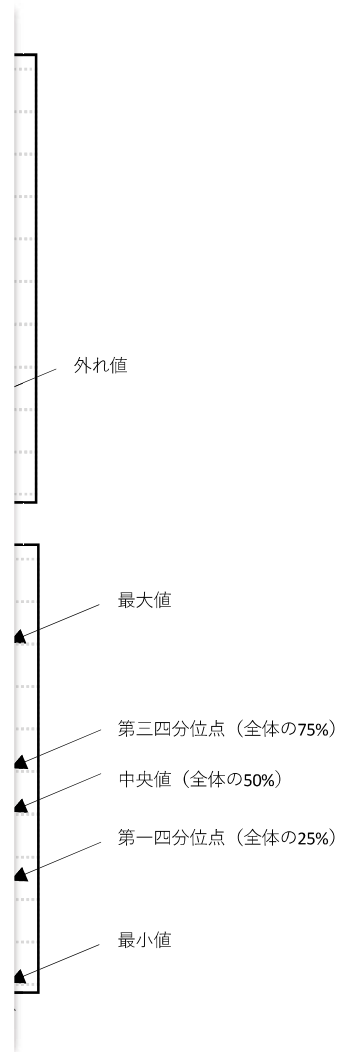


図1